

全国障害者作品展（仮称）実施計画書策定業務委託 評価基準

1 業務受託候補者決定方法

審査委員会において、全国障害者作品展（仮称）実施計画書策定業務委託のプレゼンテーションに基づき審査を行い、最も優れた提案を行った者（以下「最優秀提案者」という。）を業務受託候補者とする。

(1) 企画提案書及びプレゼンテーションの採点

採点は、参加者から提出された企画提案書のプレゼンテーションにより、各審査員が評価項目ごとに定めた評価の視点に基づき、絶対評価で行う。

なお、採点については、次のとおり5段階評価とする。

5	優秀
4	良い
3	普通
2	やや劣る
1	劣る

(2) 選定方法

ア (1) 採点の結果、審査委員全体の評価の合計が最も高い業者を採用する。

イ 上記アの評点の最も高い者が複数であった場合は、審査委員の採決により決定する。

ウ 提案者が1者の場合、提案者の合計点が満点（150点×評価する審査委員数）の6割に達したときは、最優秀提案者として採用する。

2 評価基準表

別紙のとおり

全国障害者作品展（仮称）実施計画書策定業務委託 評価基準表

審査委員氏名

評価項目	配点	評価の視点	評価					評点	備考	
			優秀	良い	普通	やや劣る	劣る			
業務理解度	10	本業務の趣旨や目的を理解した提案となっているか。	10	8	6	4	2			
企画提案	80	提案された特別展示の展示内容は、来場者の増加や魅力的な展示に繋がる提案か。	20	16	12	8	4			
		展示レイアウトは、全国障害者芸術・文化祭にふさわしい、魅力的且つ作品の魅力を引き出すとともに、来場者の周遊性の高まる内容を提案しているか。	20	16	12	8	4			
		展示会場でのワークショップやイベント等については、来場者が気軽に参加でき、また集客に繋がる内容を提案しているか。	20	16	12	8	4			
		障害のある方からの作品募集や展示会開催を周知する広報は、より多くの応募や来場者が期待できる提案となっているか。	20	16	12	8	4			
業務実施体制	40	企画・広報・展示において、連携・協力するデザイナーは、障害者の文化芸術活動への造詣が深く、十分な実績があるデザイナーか。	20	16	12	8	4			
		デザイナーと連携しながら事業全体を実施する体制が確保されているか。	20	16	12	8	4			
業務全体のスケジュール	10	提案事業の各スケジュールが適切に設定されているか。	10	8	6	4	2			
経費見積等	10	実施経費が企画提案の内容に沿って適切に見積もられ、実現可能な企画（経費）となっているか。	10	8	6	4	2			
合 計							(満点150点)			